

2013年4月25日

報道関係者各位

YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所

公共交通オープンデータ開発者サイトの立ち上げ、
ならびに、そのオープンデータを利用させることにより、
公募開発者に短期で多様なアプリを開発させることに成功

ユビキタス・コンピューティングの基盤研究所である YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所*1(東京都品川区、所長:坂村健・東京大学教授)は、総務省委託事業「情報流通連携基盤の公共交通分野における実証」(平成24年度)において、公共交通オープンデータ開発者サイトを開設し、オープンデータを利用したアプリ開発募集を実施しました。公募に集まった企業や個人らが、開発者サイトを通じて情報流通連携基盤システムを利用し、東京都交通局、東日本旅客鉄道株式会社、ならびに、東京地下鉄株式会社より提供された公共交通データを用いて、アンドロイドもしくはiOS上に16種類のアプリケーションを3週間で開発しました。これは従来同種のアプリケーション開発と比べた場合、2倍以上の開発効率に相当すると評価されます。参加企業には、ジョルダン株式会社、株式会社ジェピコ、ビックリバコ株式会社、Takai ICT 株式会社などが含まれます。

今後、東京都交通局、東日本旅客鉄道株式会社、西武鉄道株式会社、京王電鉄株式会社、小田急電鉄株式会社、東京急行電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、東京地下鉄株式会社を含む鉄道事業者各社の協力を得ながら、公共交通オープンデータに関して検討を開始する予定です。

【背景】

IoT(Internet of Things)や M2M(Machine-to-Machine)などの活発な取組みに伴い、センサによって観測されたデータや、社会の様々なところで使われている機器類が取得したデータを情報通信ネットワークによりオープンデータとして共有・流通させることにより、有用なビッグデータとして社会運営の効率や利便性の向上に資することが期待されています。

また、これまで各組織・業界内で閉じて利活用されていたデータを公開し、オープンデータとして流通させようとする動きが広がっています。公開された各種オープンデータを共有・流通させるためには、それぞれが公開するデータの記述形式や意味の差違を吸収できる環境(オープンデータ流通環境)が必要です。このような汎用性ある技術・運用ルール等が整った環境を構築し、その上で鉄道、バス等の運行情報、駅・停留所等の公共交通施設情報を共通のデータ規格に基づいてオープンデータ化することで、都市部における公共交通の状況を可視化することを目指し、「情報流通連携基盤の公共交通分野における実証」プロジェクトを行っています。

トレバサ！

トレバサ！は、最寄りの列車・バス・駅・バス停を集めるゲーム感覚のアプリケーションです。駅、バス停、電車、バスの付近にいた場合に、コレクションボタンを押すことで集めることができます。



駅停ナビ

駅停ナビは、現在地等、指定した場所の近くにある駅やバス停の情報を提供するアプリケーションです。基盤システムから列車やバスの路線情報、駅情報、バス停情報を取得しています。



駅、バス停一覧		
情報		
電車		
バス停		
電車路線		
バス路線		
その他		
場所	種別	店名
南北通路付近	コインロッカー	コインロッカー (南北通路)
グランスタ	弁当, GRANSTA	浅草今半
グランスタ	食料品・惣菜, 弁当, GRANSTA	キッチン大宮
グランスタの案内 付近	案内板	案内板 (地下中央通路行き階段付近)
地下中央通路		コインロッカー
MAP		

Busreq

Busreq は、乗車したいバスにある、シルバーシートや車椅子スペースの空きを確認し、また確保をリクエストするアプリケーションです。基盤システムからバスの運行情報、路線情報、バス停情報を取得し、表示しています。シルバーシートや車椅子スペースの空き情報は、アプリケーション内で管理しています。



【補足資料】

*1: YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所について

YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所は、身の回りのあらゆるモノに、通信能力を有するマイクロコンピュータやセンサ、アクチュエータ等が埋め込まれ、それらが相互に情報交換を行いながら協調動作し、人間生活をより高度にサポートする、ユビキタス・コンピューティング環境を構築すること、更に次世代インターネット技術の一つであり、いつでもどこでも、携帯電話や携帯端末などを使って、あらゆる「モノ」や「場所」と通信する技術、いわゆるユビキタス・ネットワーク技術に関する研究開発を推進しています。

【本件に関するお問い合わせ】

YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所(担当:小林真輔)

Tel:03-5437-2270

e-mail:press@ubin.jp